

令和5年度空家実態調査結果について

魚津市では、空き家の実態を把握する調査を平成26年から開始し、今回で5回目の実施となりました。調査は、地域振興会の協力を得て7月から8月にかけて実施しました。

1 調査概要

調査範囲：市内全域

調査する者：地域振興会

調査対象：居住の用に供する建築物（戸建住宅）で、現に人が居住していないもの
 ※但し、概ね3ヶ月以内に帰ってくるものは除く
 例）施設入所等と居宅を繰り返している場合

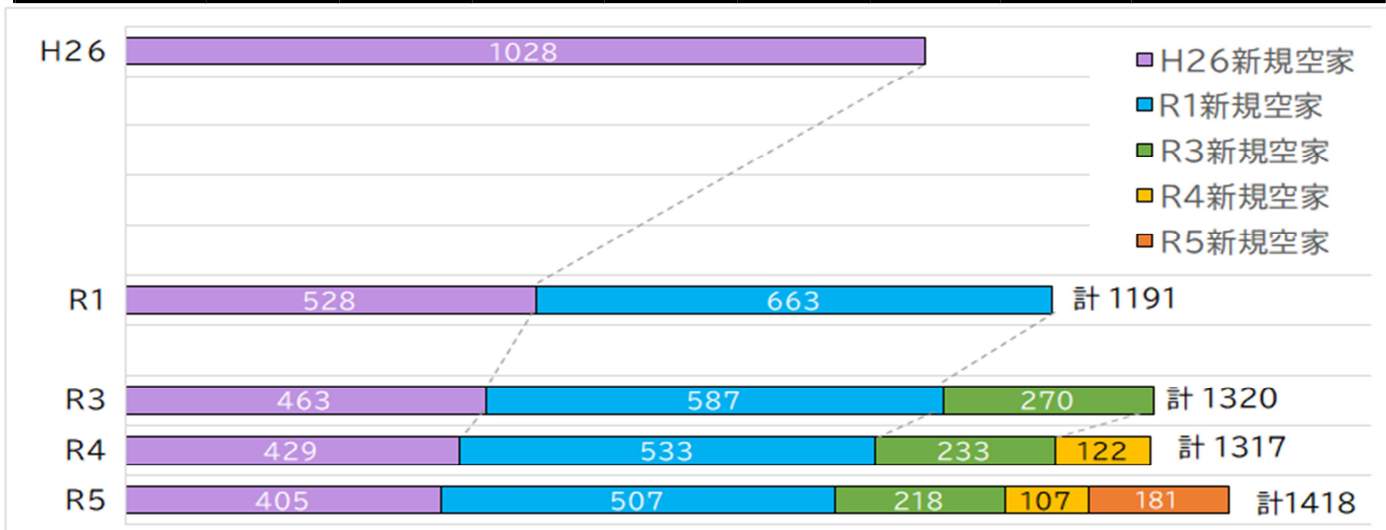
調査期間：令和5年7月1日～令和5年8月31日

2 調査結果

(1) 空き家の動き

下の表は地区ごとの空き家数を集計したものです。

<市全域>	空き家件数					R4からR5に		R5空き家数地区割合 (地区/全体)
	H26	R1	R3	R4	R5	解消数	新規数	
大町	172	195	219	217	239	12	34	16.9%
村木	163	167	175	175	192	11	28	13.5%
下中島	49	47	51	59	62	5	8	4.4%
上中島	26	31	38	39	42	2	5	3.0%
松倉	25	35	47	49	61	2	14	4.3%
上野方	32	47	60	50	58	2	10	4.1%
本江	193	208	222	223	238	15	30	16.8%
片貝	40	41	51	51	54	2	5	3.8%
加積	75	95	106	108	110	10	12	7.8%
道下	53	92	97	100	109	5	14	7.7%
経田	136	124	140	137	141	7	11	9.9%
天神	33	48	52	47	48	3	4	3.4%
西布施	31	61	62	62	64	4	6	4.5%
合計	1028	1191	1320	1317	1418	80	181	100.0%



- ・令和5年度の調査では、市全域の空き家数は101戸増加しました。
内訳は、令和4年度の調査から80戸解消しましたが、新たに181戸の空き家が発生しました。

(2) 管理不全な空き家の動き

※管理不全空き家とは、調査項目（ア）～（★）に1つ以上該当している空き家です。

調査項目

- （ア）雑草等の繁茂・庭木等の管理が悪い
- （イ）ゴミ等の放置による家屋（敷地）内の衛生環境が悪い
- （ウ）屋根雪等の始末が悪い
- （エ）強風によるトタン等の飛散の恐れ・屋根瓦の落下の危険性
- （オ）倒壊の恐れなどが感じられる
- （★）町内が特に困っている

<市全域>	管理不全空き家数					R4からR5に		管理不全空き家率 (管理不全/空き家数)
	H26	R1	R3	R4	R5	解消数	新規数	
大町	25	19	26	30	20	16	6	8.4%
村木	33	25	30	30	26	15	11	13.5%
下中島	11	12	13	15	8	10	3	12.9%
上中島	5	6	7	9	7	4	2	16.7%
松倉	3	12	11	12	9	7	4	14.8%
上野方	6	16	12	15	20	3	8	34.5%
本江	42	37	42	46	32	29	15	13.4%
片貝	6	12	13	9	6	5	2	11.1%
加積	22	18	25	18	25	10	17	22.7%
道下	11	21	21	27	17	16	6	15.6%
経田	24	35	39	44	18	35	9	12.8%
天神	4	18	14	13	12	7	6	25.0%
西布施	7	17	17	19	12	12	5	18.8%
合計	199	248	270	287	212	169	94	21.8%

下の表は地区ごとの管理不全な空き家数を集計したものです。

下の表は、空き家総数に対する（ア）～（★）と、（ア）～（オ）と（★）が重複している割合です。

<市全域>	R5				R4→R5	
	対象戸数	対象戸数 空き家戸数	(★)と重複数	対象重複戸数 空き家戸数	戸数増減	
(ア)	161	11.4%	34	2.4%	減	59
(イ)	17	1.2%	11	0.8%	減	21
(ウ)	44	3.1%	21	1.5%	減	7
(エ)	64	4.5%	24	1.7%	減	30
(オ)	38	2.7%	22	1.6%	減	9
(★)	41	2.9%	-	-	減	36
管理不全空き家	212	15.0%	-	-	減	75

令和5年度の調査では、管理不全な空き家は212戸でした。

昨年度の調査に比べ75戸減少しております。

全ての項目で戸数が減少しております。